

第4節 地球温暖化防止の取り組み - 美しい地球を後世に -

地球温暖化は、人類をはじめ生物界に深刻な影響を与えることが指摘されています。温暖化の要因については、私たちの生活や生産活動から大気中に放出される温室効果ガス(二酸化炭素等)の増大によるものであると言われています。今後、温暖化によって海面の上昇、砂漠化の進行などが予想され、自然の生態系や食料生産、水資源、衛生状態等に悪影響を及ぼす恐れがあります。

2005年2月には、京都議定書が発効し、同年4月に「京都議定書目標達成計画」が閣議決定され、地球温暖化防止に向けた具体的な取り組みが緊急の課題となっています。

本市においては、自ら率先して環境配慮活動を行うとともに、市民、事業者が積極的に取り組めるように、支援を行って行きます。

地球温暖化によるさまざまな影響

異常気象

異常気象により、洪水・渇水・干ばつが増加します。

海面上昇

最大で88cmの海面上昇が予想されています。

生態系の変化

動植物の絶滅など生態系全体のバランスが崩れます。

健康被害

マラリアなどの熱帯性の病気の被害が広がります。

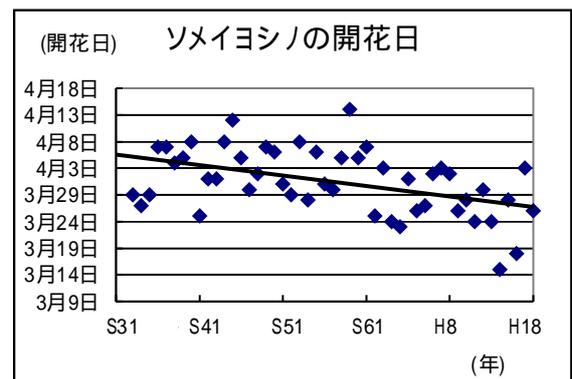
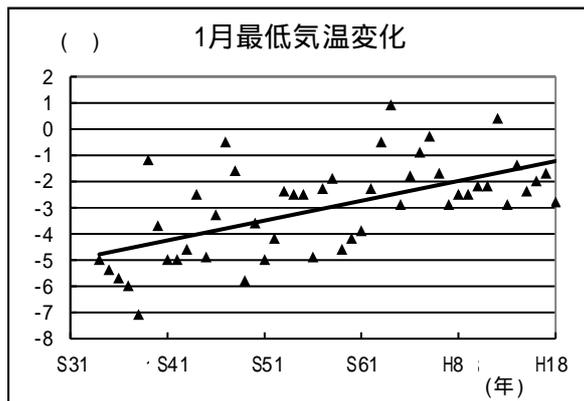
食糧危機

穀物などの生産量の低下を招き食糧難になります。

1. 八王子における温暖化現象

(1) 最低気温と桜の開花状況

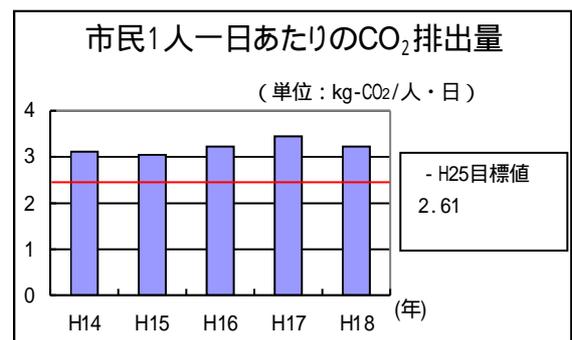
地球規模での地球温暖化の影響と思われる現象は、私たちの身近にも現れています。年々、最低気温が上昇し、桜の開花時期も早まってきています。18年度については、桜(ソメイヨシノ)の開花が平年より6日早くなりました。



(2) 市民生活に係わる二酸化炭素(CO₂)排出量

八王子市民1人が1日に電気及び都市ガスを使用することによって排出するCO₂は、昨年度を下回りましたが、目標値には届いていません。

地球温暖化を防止するためには、省エネルギー対策に市民・事業者が自ら取り組む必要があります。



2. 地球温暖化対策の具体的な取り組み

(1) 公共施設への対応

市では、率先して環境に配慮していくため、環境マネジメントシステム(「L A S - E」、詳細は70ページ)を導入し、職員の意識の向上のため、電気の使用量がひと目でわかる省エネナビを市施設5ヶ所に設置したほか、年間を通して空調設定温度を徹底し、夏にはノーネクタイ、ノー上着のエコさわやかスタイルを実践しました。

北野のあったかホールでは、6月にCO2削減をねらった環境省のキャンペーンである「ブラックイルミネーション2006」に参加し、2時間のライトダウンを行いました。

また、清掃車両の新車購入の際には、低公害化を図るため、CNG(圧縮天然ガス)車を購入しました。18年度においては、全清掃事業所で計6台購入し、18年度末には、CNG車を円滑に稼働させるためのパッケージ型天然ガス急速充填装置を館清掃事業所内に設置しました。



省エネナビ



パッケージ型天然ガス急速充填装置



CNG(圧縮天然ガス)清掃車



庁内の環境配慮行動の一例

